

食料・農業・農村基本計画改定に向けた 意見交換会

趣旨説明

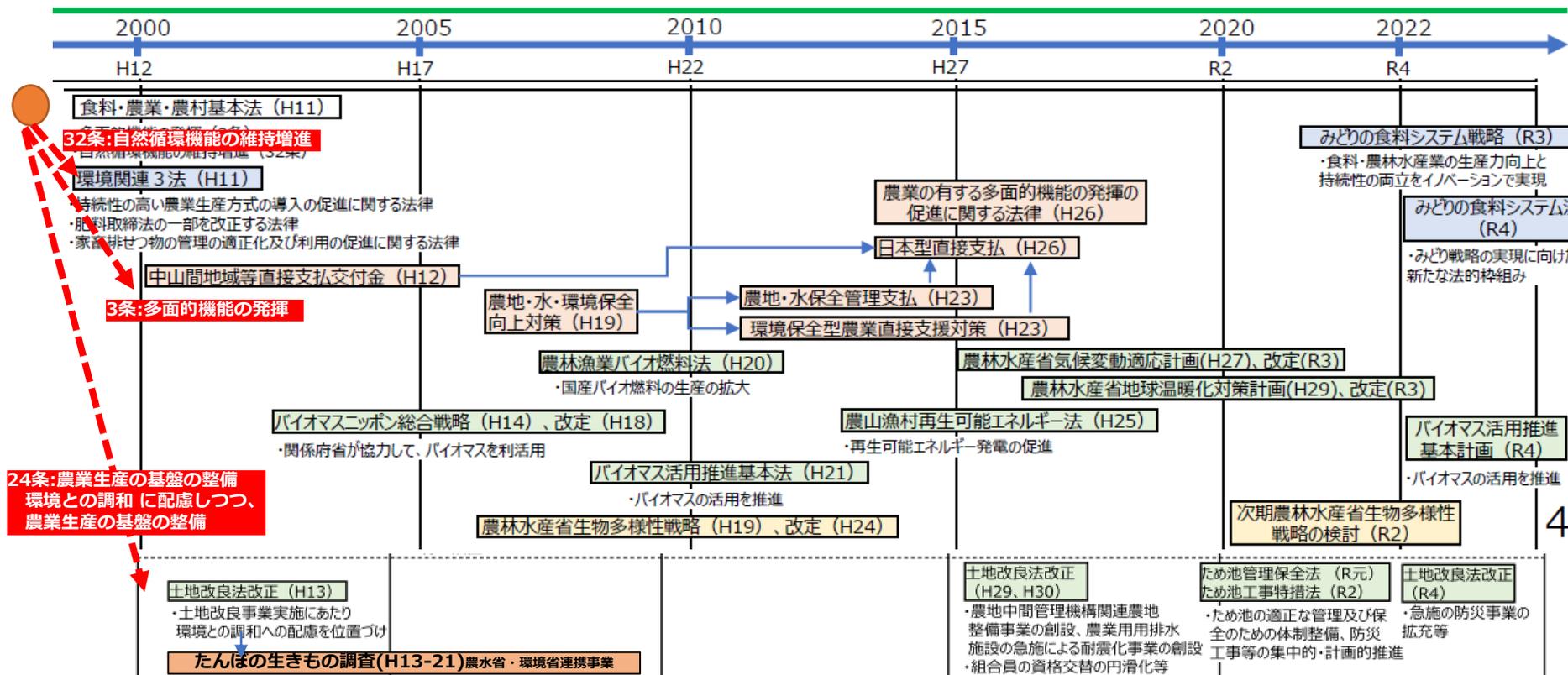


公益財団法人 日本自然保護協会

藤田 卓

基本法・基本計画の重要性【過去】

「持続可能な農業」をとりまく国際動向と農林水産施策の変遷



25年前の基本法改正が起点となり、重要な法制度が新設・改訂
 (多面法・持続農業法の新設、土地改良法改正 (農地の全国モニタリング開始))

下記2つの資料に加筆

農林水産省. (2023). 資料3食料・農業・農村をめぐる情勢の変化(持続可能な農業の確立). 食料・農業・農村基本法検証部会第7回. <https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/attach/pdf/7siryo-9.pdf>

農林水産省. (2023). 食料・農業・農村をめぐる情勢の変化(農村の振興). 基本法検証部会(令和5年1月27日)配付資料. <https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/attach/pdf/8siryo-18.pdf>

基本法・基本計画の重要性【未来】

新たな基本理念【環境と調和のとれた食料システムの確立(3条)】関連施策 令和5～9年度

5 みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化

	令和5～6年度	令和7年度	令和8年度～
みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化	<p>①試行的実施(6年度) ・最低限行すべき環境負荷低減の取組内容を事業申請時にチェックシートで提出</p>		<p>②本格実施(9年度目標) ・事業申請時のチェックシート提出に加え、実際に取り組んだ内容を事業実施後に報告することを義務化</p>
	<p><先進的な環境負荷低減の取組の支援></p> <p>先進的な環境負荷低減への移行期の取組を重点的に後押しするとともに、これらの取組を下支える農地周りの雑草抑制等の共同活動を通じて面的な取組を促進する仕組みの構築</p>	<p>①環境保全型農業直接支払交付金及び多面的機能支払交付金について、有機農業の取組面積の拡大や環境負荷低減に係る地域ぐるみの活動の推進といった観点から、新たな仕組みを導入(7年度)</p>	<p>②その上で、みどりの食料システム法に基づき環境負荷低減に取り組む農業者による先進的な営農活動を支援する仕組みに移行(9年度目標)</p>
	<p><食料システム全体での環境負荷低減の取組推進></p> <p>環境負荷低減の取組の「見える化」</p> <p>脱炭素の促進に向けたJ-クレジット等の活用</p>	<p>品目の拡大、生物多様性指標の追加、ラベル表示の本格運用</p> <p>農林水産分野で新たな方法論の策定及び取組の拡充、農業者を取りまとめてクレジット化の手續や販売等を行う事業者の取組推進</p>	
	<p>実需者との連携や消費者の理解醸成</p>	<p>「食料システムの関係者が参画する「ふるふの環プロジェクト」を導いた情報発信</p>	

6 多面的機能の発揮

	令和5～6年度	令和7年度	令和8年度～
多面的機能の発揮	<p><中山間地域等直接支払></p> <p>農地保全やくらしを支える農村RMO等の活動を促進する仕組みの構築</p>	<p>※次期対策開始(令和7年度～)</p> <p>多様な組織等の活動への参画と、小規模協定のネットワーク化により、効率的な農地保全や集落機能を維持する体制の基礎づくりを推進し、農村RMOの活動を促進</p>	
	<p><多面的機能支払交付金></p> <p>活動組織における非農業者・非農業者団体の参画促進等を図る仕組みの構築</p> <p>事務の簡素化や土地改良区の共同活動への関与の在り方について検討</p>	<p>※次期対策開始(令和7年度～)</p> <p>多面的機能支払の活動組織について、広域化を図りつつ、県・市町村等の支援により外部団体等とのマッチング、多様な組織や非農業者の参画等を推進【再掲】</p>	
	<p><多面的機能支払交付金・環境保全型農業直接支払交付金></p> <p>先進的な環境負荷低減への移行期の取組を重点的に後押しするとともに、これらの取組を下支える農地周りの雑草抑制等の共同活動を通じて面的な取組を促進する仕組みの構築</p>	<p>①環境保全型農業直接支払交付金及び多面的機能支払交付金について、有機農業の取組面積の拡大や環境負荷低減に係る地域ぐるみの活動の推進といった観点から、新たな仕組みを導入(7年度)</p>	<p>②その上で、みどりの食料システム法に基づき環境負荷低減に取り組む農業者による先進的な営農活動を支援する仕組みに移行(9年度目標)</p>

R5年 クロスコンプライアンス試行
(補助金支援条件として環境負荷低減など義務づけ)
R9年 本格始動(全ての公的支援対象)
R5年 環境負荷低減の見える化検討

R6年 多面法3交付金の見直し
R7年 環直・多面的機能支払
有機農業・環境負荷の新たな仕組み
R9年 環境負荷低減の支援：みどり法に移管



・今後3年間で、環境政策の大きな改訂？
・基本計画に目標・実施方針を明記することが重要

本日の意見交換会のねらい

新たな基本理念 の実現に向け

【第3条】 環境と調和のとれた食料システムの確立

1. 基本計画改定への反映に焦点を絞る

(◎法制度横断の方針、△個別の法制度)

2. 次のアクションにつながる、化学反応を生み出す

例)

- ・農水省×NGO、NGO × NGOで個別のテーマを話し合うきっかけ
- ・民間主導でできる次のアクションにつながる等、

食料・農業・農村基本計画改定に向けた提言の収集

1. 方法

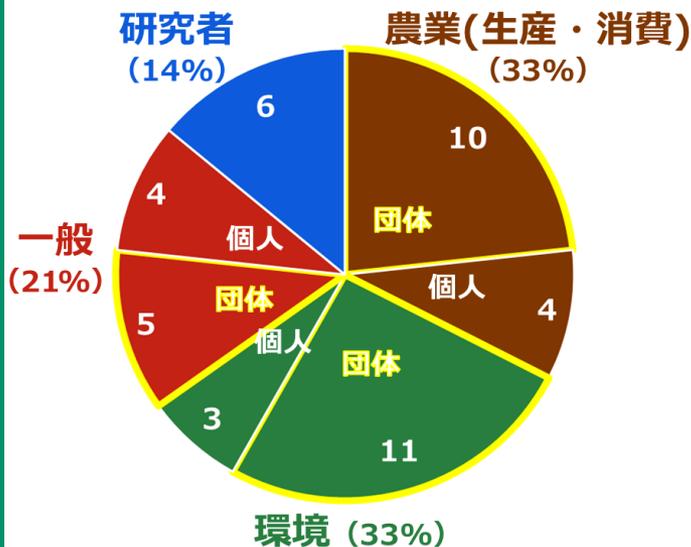
募集対象：農地の生物多様性保全や有機農業など持続可能な生産・流通・消費に関心を持つ団体・個人

募集内容：「環境と調和のとれた食料システムの確立」のため、**第6期食料・農業・農村基本計画へ盛り込むべき事項**についての提案

募集方法：メーリングリストやSNSで募集（募集期間：2024年8月23日～9月27日）
WEBフォームにて提言を受付。

2. 結果

・ **26団体**、**17名の個人**から、**149項目**の提言の提出



提言提出 団体一覧

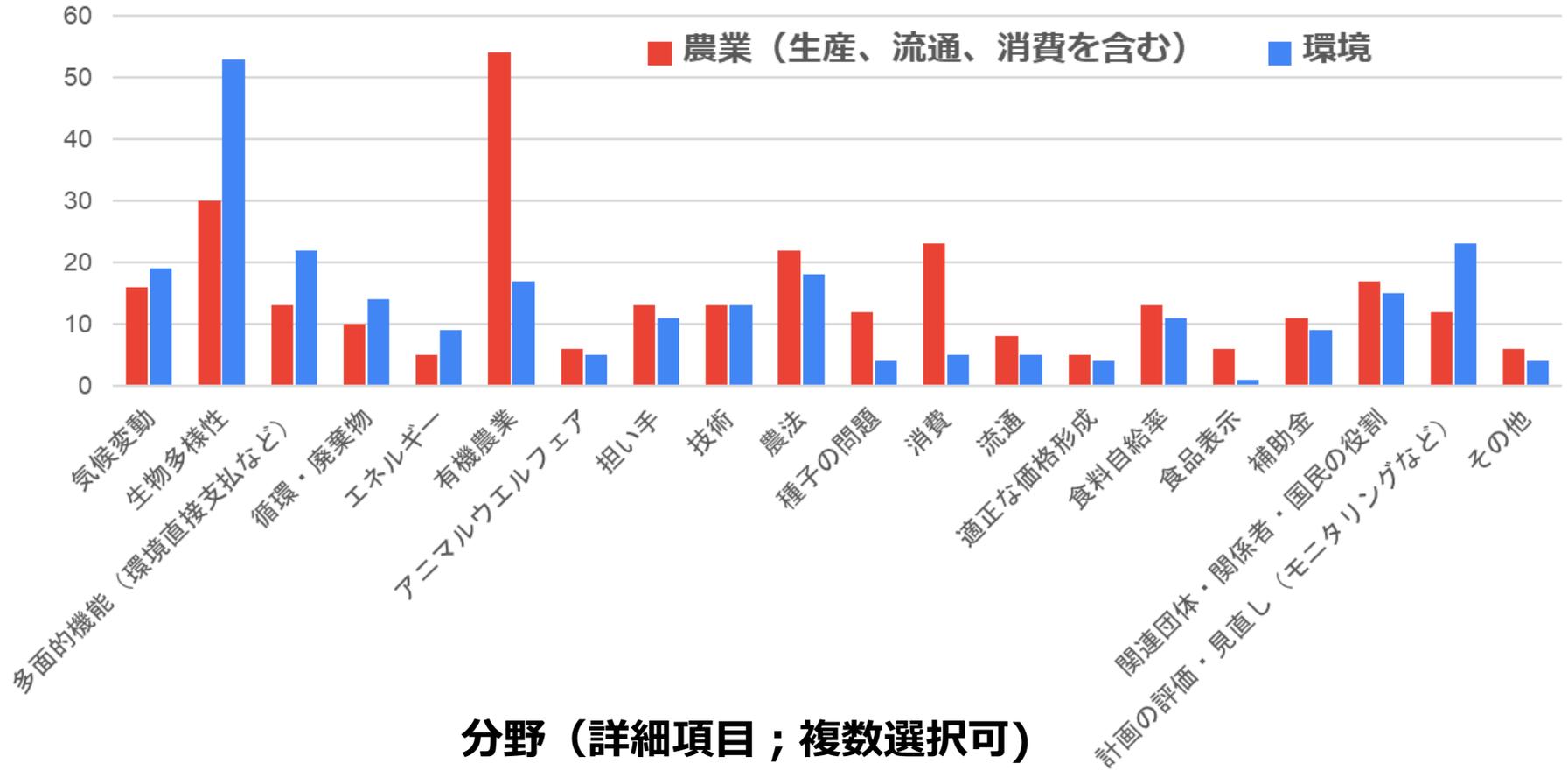
提言の提出団体	属性	提言数
NPO法人 有機農業推進協会	農業 (団体)	1
NPO法人日本有機農業研究会	農業 (団体)	16
NPO法人民間稲作研究所	農業 (団体)	1
NPO全国有機農業推進協議会学校給食を有機にW T	農業 (団体)	5
ママエンジェルズ 日本オーガニック給食審議会	農業 (団体)	12
吉村農園	農業 (団体)	1
食政策センター・ビジョン2 1	農業 (団体)	8
日本の種子を守る会	農業 (団体)	4
農業生産法人 日本豊受自然農株式会社	農業 (団体)	4
農的社会デザイン研究所	農業 (団体)	5
(公財) 日本野鳥の会	環境 (団体)	3
NPO法人オリザネット	環境 (団体)	3
NPO法人棚田LOVERS	環境 (団体)	1
はなのき友の会	環境 (団体)	3
モニ1000里地調査S293サイト有志	環境 (団体)	4
ラムサール・ネットワーク日本水田部会	環境 (団体)	5
リアル・コンサベーション	環境 (団体)	2
株式会社バイオーム	環境 (団体)	3
公益財団法人 日本自然保護協会	環境 (団体)	5
公益財団法人世界自然保護基金 ジャパン	環境 (団体)	3
特定非営利活動法人 加茂女	環境 (団体)	2
株式会社ラジアント	一般 (団体)	1
環境と農業を考える会	一般 (団体)	11
公益財団法人日本釣振興会	一般 (団体)	3
特定非営利活動法人舞岡・やとひと未来	一般 (団体)	1
かえる友の会	一般 (団体)	2

個人一覧

提言の提出団体	属性	提言数
個人	農業 (個人)	3
個人	農業 (個人)	3
個人	農業 (個人)	1
個人	農業 (個人)	1
個人	環境 (個人)	6
個人	環境 (個人)	1
個人	環境 (個人)	3
個人	一般 (個人)	1
個人	一般 (個人)	3
個人	一般 (個人)	1
個人	一般 (個人)	2
西日本アグロエコロジー協会	研究者	5
鳥取大学工学部社会システム土木系学科	研究者	1
個人	研究者	5
個人	研究者	2
個人	研究者	1
個人	研究者	1

分野別の提言の数

43団体と個人、149項目の提言の結果に基づく



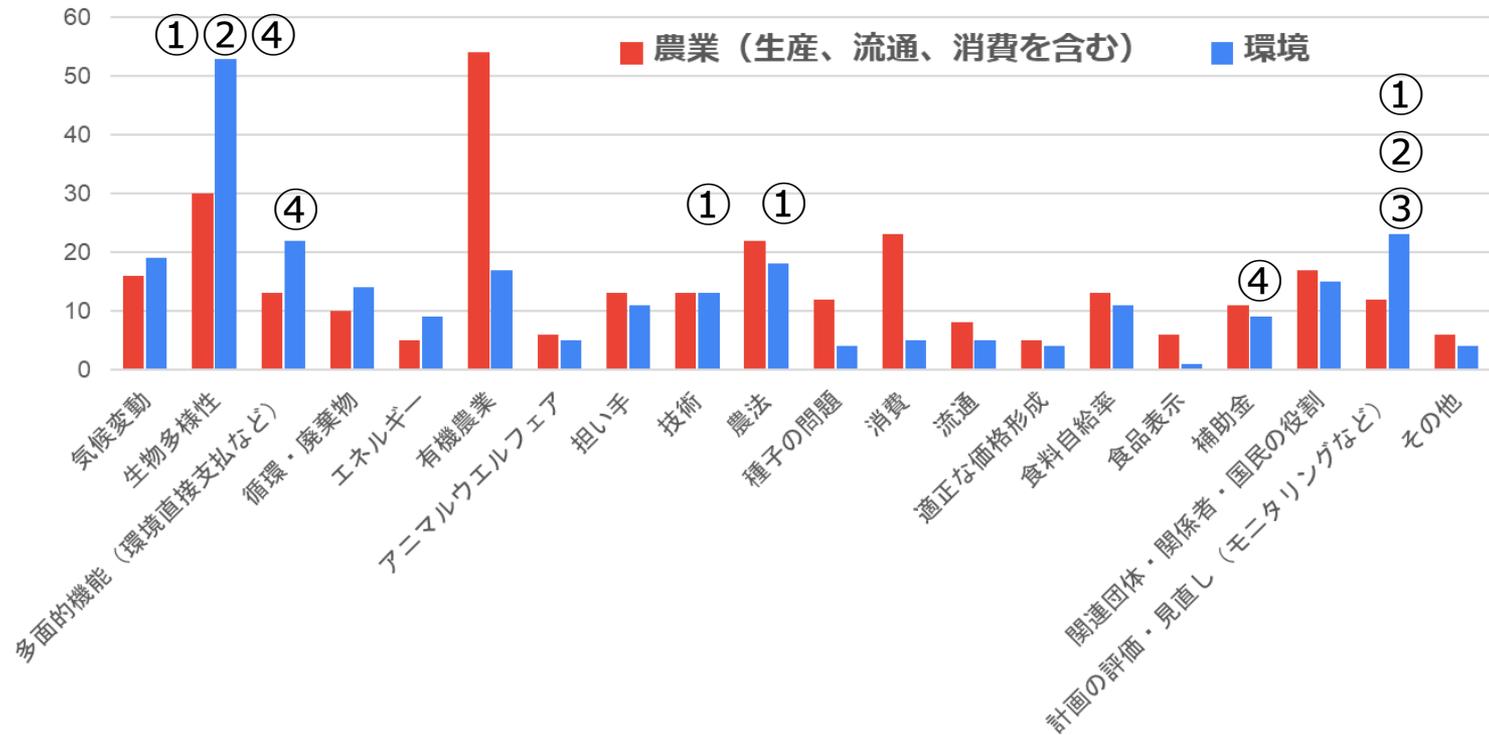
分野 (詳細項目 ; 複数選択可)

提出数の多い分野 上位3つ

環境 : 生物多様性53, 計画の評価・見直し23, 多面的機能22
農業 : 有機農業54, 生物多様性30, 消費23

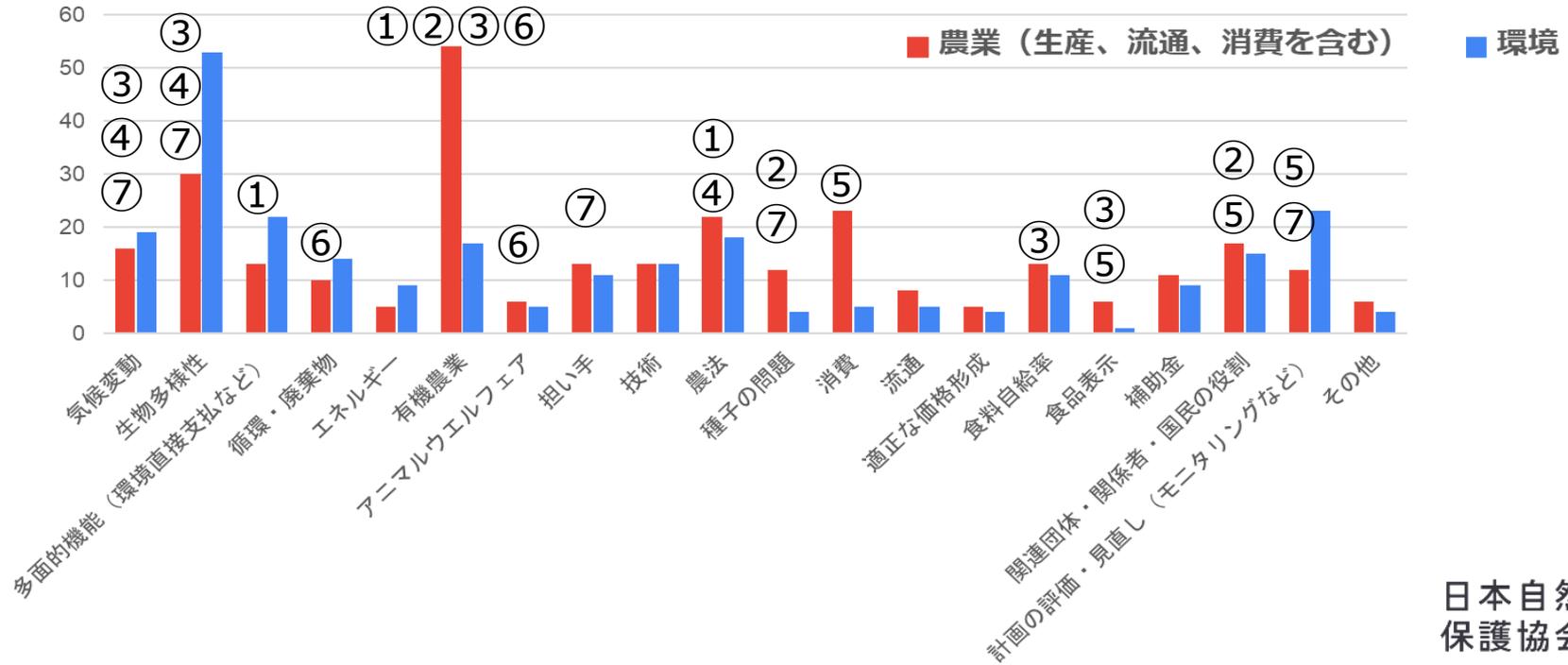
環境：基本計画改定の主要なテーマと分野の関係

テーマ	発表者、発表団体
①環境負荷の中に生物多様性低下を明示し対策へつなげる	齊藤光明（特非）オリザネット 金井裕（特非）ラムサール・ネットワーク日本
②施策評価のための生物多様性の目標設定・計画の見直しを明記する	久保優（公財）世界自然保護基金ジャパン 田尻浩伸（公財）日本野鳥の会
③モニタリング体制を構築する	多賀洋輝(株)バイオーム 藤田卓（公財）日本自然保護協会
④環境保全に貢献する公的支援を大幅に拡大する	池上甲一(特非)西日本アグロエコロジー協会



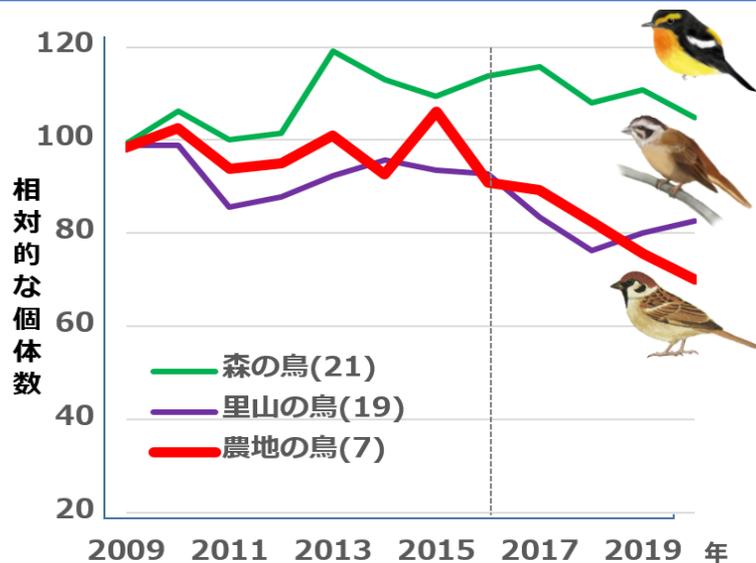
農業：基本計画改定の主要なテーマと分野の関係

テーマ	発表者、発表団体
①森川里海のつながり	魚住道郎 日本有機農業研究会
②ゲノム編集と有機農業	外園信吾（特非）有機農業推進協会
③水田の維持と有機化など	安田節子 食政策センター・ビジョン21
④生物多様性・地球温暖化と有機稲作	館野廣幸（特非）民間稲作研究所
⑤学校給食・消費者視点	田中真希 ママ♡エンジェルズTEAM2600万
⑥有機畜産について	大山利男 HOBA北海道オーガニックビーフ振興協会
⑦持続可能な農業施策目標の設定とPDCAの実現	徳江倫明 環境と農業を考える会



モニタリングサイト1000里地調査(環境省事業) 2005-2022年度 とりまとめ報告書 主なトピック

- ・ 全国 325 か所、5,700人の市民調査員による 18 年間の調査成果
- ・ 身近なチョウ類の 33%、鳥類の 15%の個体数が**急速に減少**
絶滅危惧種の判定基準に匹敵
- ・ **農地**など「開けた環境」の鳥類・チョウ・植物が**共通して急減**
- ・ 草原性の植物・鳥類・チョウ類の種数維持に**外部資金を獲得して**
実施する保全活動が有効



スズメ (撮影: 石原隆志氏), イチモンジセセリ (撮影: 岩田和鷹氏)、

	増減率 (%/年)	
	2009-20年	2015-20年
森の鳥	+0.7	-0.9
里山の鳥	-1.7	-3.2
農地の鳥	-2.8	-7.4

10/1 14時公表、さっそく話題に

YAHOO! ニュース
JAPAN

IDでもっと便利に新規取得

ログイン  ふるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

エキスパート

オリジナル

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

・イラン 弾道ミサイル攻撃準備か **NEW**

・「納得と共感内閣」と石破茂首相

・関電送配電 有害物質巡り虚偽報告 **NEW**

・五輪最高位スポンサー 日本勢撤退

・東京都港区6.2人に1人が社長 調査

スズメ絶滅危惧種に? 急速に減少

・大谷翔平、9月の月間MVP受賞 **NEW**

・最下位の西武 渡辺監督代行が謝罪 **NEW**



大谷翔平、9月の月間MVP受賞

もっと見る

全カテゴリのトピックス一覧

コメントトレンド

おすすめコメントを見る

1 **スズメ**  ライフ/ライフ総合

4 **ムクドリ**  ライフ/ライフ総合

7 **大谷** スポーツ

2 **石破さん** 国内/政治

5 **MLB** スポーツ/野球

8 **球団** スポーツ >

3 **ドジャース** スポーツ/野球

6 **NPB** スポーツ/野球

9 **裏金** 国内/政治

Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/>

(2024/10/2 1:29 時点)

